

## 第2学年2組 社会科学習指導案

2年1組教室 指導者 西岡 賢一

### 1 単元名 西尾商人の底力(明治維新)

### 2 単元の目標

- (1) 西尾の産業を発展させるために商人たちの力によって設立された西尾鉄道について調べることで郷土西尾の歴史に関心をもち、設立に関わった人々や産業について追究することができる。
- (2) 地方の殖産興業の様子を西尾鉄道が設立されたことで産業がどのように変化していったのかを輸送手段や商人の動きなどから多面的・多角的に追究し、自分の考えをもつことができる。
- (3) 西尾鉄道によって産業がどのように変化したのかを考察するために、当時の西尾鉄道の利用状況などの資料を収集し、その中から選択し読み取ることができる。
- (4) 西尾鉄道やそれにかかわる商人たちの活動から地方の殖産興業の様子を理解することができる。

### 3 単元の構想

- (1) 生徒にかける教師の願い

基礎的な知識については、教科書や資料集を使い習得することができてきた。また日々の授業でも一問一答式の問題では積極的に挙手する生徒が多い。しかし、単元「欧米の進出と日本の開国」で資料から時代背景を読み取り考える場面では、自分の考えを自信をもって表現できる生徒は少なかった。

また抽出生Aは過疎地域の学習をしたとき、人口と面積のグラフを見て、人口の少ないことは読み取れたが、人口と面積の関係まで関連づけて読み取ったりすることはできなかった。そこで本単元を通して、資料を読み取り、自分の考えを構築し表現できる力を培ってほしい。

- (2) 教材について

明治初期、富国強兵の政策のもと殖産興業が全国に広がっていった。富岡製糸場などの官営模範工場が作られ、国から産業振興が進められたことを学習した。この殖産興業が各地方ではどのように推進されていったのかを郷土西尾の商人や西尾鉄道を取り上げることで考える。

明治時代になると水運が中心だった輸送手段が陸路を使った鉄道などに変化していった。1872年に鉄道が新橋・横浜間で開通したことがきっかけとなっている。この地域は平坂港を利用した水運が盛んで産業が発達してきた。しかし、輸送手段の変化に伴いこの地域の産業が衰退していくかもしれないという不安から、商人たちが鉄道を建設し産業の発展に貢献してきた事実を写真や地図などの資料を使って考える。

- (3) 単元について

つかむの段階では、西尾が幕末から明治時代にかけて三河三都と呼ばれていたことを知る。物資の輸送手段が変化していくことによって取り残されてしまうかもしれないという商人たちの不安から設立された西尾鉄道の存在を知る。

深めるの段階では、西尾鉄道の成立とその過程でかかわった人々、幕末まで西尾の産業を支えてきた平坂港についても学習する。それらの事象を踏まえ、西尾鉄道が西尾の殖産興業に貢献したのかを考える。

生かすの段階では、鉄道にかかわった商人について再度見直し、郷土の商人たちが大きな力を持ち、歴史を作ってきたことを実感させたい。

4 単元構想図 (8時間完了、本時7/8)

教師の支援

明治時代の西尾について探ろう(1)

つかむ

- ・ 地図を見て、西尾の産業の将来を考える。

<p>【地図より】</p> <p>西尾は当時三河三都の一つだった。 岡崎や豊橋には鉄道が走っている。西尾は… 刈谷や安城も駅がある。</p>	<p>【疑問】</p> <p>西尾の産業はどうなる。 西尾に鉄道はこないの。 どうして西尾はないのかな。</p>
--	--

↓

産業を発展させるために西尾にも鉄道が必要。  
国有鉄道がないなら、自分たちで作るしかない。  
(西尾鉄道)

**西尾の産業は西尾鉄道によって発展できたのだろうか。**

- ・ 明治時代の西尾の様子を捉えさせるために、当時の鉄道路線が入った地図を準備する。
- ・ 地方の殖産興業について考えさせるために郷土西尾の商人や鉄道を取り上げる。

西尾鉄道は西尾の産業に貢献できたか探ろう(6)

深める

- ・ 西尾鉄道について調べる。

<p>路線関係</p> <p>1911年 西尾・岡崎新間 1914年 西尾・平坂臨港間 1916年 西尾・吉田港間</p>	<p>人物関係</p> <p>岩瀬彌助 鈴木友次郎 鳥山傳兵衛 新家寛 水野芳太郎 尾崎久治</p>
---	--

1911年 西三軌道 → 1912年 西尾鉄道

<p>愛知県の中では早い次期に西尾鉄道が開通しているね。 岡崎新駅で国有鉄道とつながったんだ。 西尾からどうして岡崎、平坂や吉田に路線を広げたのかな。</p>	<p>鈴木友次郎は町長で鉄道の開通に貢献した。 岩瀬彌助は岩瀬文庫の創設者だけど、どうして鉄道にも関わるの。 岩瀬・新家・水野・尾崎・鳥山さんは全て商人だね。</p>
---	---

- ・ 西尾から岡崎・平坂・吉田に路線を引いた理由を考える。

<p>岡崎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡崎を通して国有鉄道につなぎ、名古屋や豊橋などに商品を送る。</li> <li>・ 人口が多いから、西尾の商品が売れる。</li> </ul>	<p>平坂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江戸時代の水運を再現し、物資の輸送ができる。</li> <li>・ 平坂街道で物資が集まる。</li> </ul>
<p>吉田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩田の塩を運びたい。</li> <li>・ 海水浴など観光で人を集めたい。</li> </ul>	

- ・ 西尾鉄道の存在意味を考えさせるために設立にかかわった人物や鉄道についての資料を準備する。
- ・ 課題について考える場面で資料を根拠に発表できるように必要な資料を準備するように指示をする。
- ・ 3路線を建設した意味を理解させるために複数の地図を用意し比較して考える。
- ・ 物資の輸送についての理解を深めさせるために平坂線と吉田線にある貨物線を取り上げる。

教師の支援

・ 商人たちの西尾鉄道にかける思いを捉えさせるため、建設期間や出資金についての資料を提示する。

・ 産業の発展について具体的に考えさせるために輸送手段、人の動きなどの視点を与える。

※抽出生 A には自分の考えに自信をもって発言できるように資料の確認等を机間巡視の中で助言する。

・ 西尾の商人の地元への思いや実力を確認するため、岩瀬文庫を創設した岩瀬彌助を取り上げる。

当時の鉄道や産業に関する資料を読み取り、自分の考えをもつことができた抽出生 A

・ 国や県でなく商人が鉄道を設立した理由を考える。  
自分たちの商売を繁栄させていきたいから。  
地元西尾の産業を発展させたいから。  
国有鉄道は西尾を通らないで大府までもう開通しているから。  
民間で鉄道会社を設立することが許可されたから。  
岡崎までつなぐことは産業の発展につながるから。

深める

・ 鉄道の普及による産業の変化を考える。

西尾鉄道は西尾の産業発展に貢献できたのか考えよう。(本時)

平坂港から西尾・岡崎を通して物資を輸送できるから。

岡崎まで学生や社会人が使うので利用者が増えたから。

吉田の塩田で作られた塩は吉田線で西尾まで運ばれたから。

吉田の海水浴や岡崎の祭りに電車を利用して行くようになったから。

西尾駅を新しく作り替えたのは西尾鉄道が発展したから。

第一次世界大戦の関係で貨物輸送が増えたから。

江戸時代の水運から鉄道を使った輸送手段を手に入れたことで今まで以上に西尾の産業は発展したと思う。

鉄道にかかわった商人の学びから、当時の人たちについて考えよう。

生かす

・ 商人の活動から、当時の人たちについて考える。

自分たちの商売だけでなく、岩瀬彌助のように西尾全体を考え行動しようとしたのはすごい。

水運から鉄道へと輸送手段が変わっていく中、新しい物を取り入れ、対応していく人々はすごいな。

必要なら国や県に頼るのでなく、自分たちで解決しようとするのは江戸時代と違うんだ。

西尾の産業も変化したけど、商人も行動力があり、時代を動かすようになったんだ。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

- ・西尾の発展に西尾鉄道が貢献していたかを資料をもとに考察することができる。

### (2) 過程

#### 1 西尾鉄道について確認しよう。(5分)

- 西尾鉄道の路線を確認する。
  - ・西尾駅・岡崎新駅間の岡崎線
  - ・西尾駅・吉田港駅間の吉田線
  - ・西尾駅・平坂臨港駅間の平坂線

#### 2 西尾鉄道は西尾の産業発展に貢献できたのかを考えよう。(40分)

- 西尾鉄道によって、できるようになったことを考える。

西尾と岡崎間が結ばれ、物資や人の移動が今までよりも便利になった。

##### 輸送手段

平坂線の開通で平坂港に集められた物資を船を使わずに輸送できるようになった。

吉田線の開通で吉良の塩田で作られた塩を今まで以上に早く運べるようになった。

##### 人の動き・観光

各駅の利用者を見ると、年々増加し、多くの人たちが活用していた。

夏になると吉田の海水浴場に観光目当てで岡崎から人が訪れているよ。

##### 会社・その他

新しく西尾駅ができたたり、1921年には配当もあった。第一次世界大戦で車両・貨物車両が増加した。

- 西尾鉄道の貢献について自分の考えをまとめる。

水運が減少していくところを鉄道輸送によって以前と同じように輸送することができる。そして、量や速さで今まで以上にできるようになり、貢献したと思う。

西尾と岡崎の間で鉄道を使って多くの人たちが移動することができるようになった。人の交流を考えても貢献できたと思う。

#### 3 本時の学びを振り返ろう。(5分)

- 本時の学びについて自分の考えをまとめる。
 

明治時代の商人は自分だけでなく、地元を大事にしていたんだ。そのためにできることを実践していたんだ。

### (3) 評価

- ・西尾鉄道が西尾の発展に貢献できたかを集めた資料をもとに考察することができたか。(学習プリント、発言の様子)

#### 教師のはたらきかけ

- ・西尾鉄道の3路線の意味を再確認させるために、当時の3路線がわかる地図を掲示する。

- ・資料をもとに考察していくため、個々の考えの根拠となる資料を確認し、準備させる。

- ・産業の発展を具体的に捉えさせるため輸送手段・人の動き・観光・会社などの視点を明確にし板書する。

- ・鉄道会社も産業の発展に貢献していることを理解させるために、新しい駅の建設や会社の配当金について紹介する。

- ※抽出生Aには自分の考えに自信をもって発言できるように、資料の確認等机間巡視の中で助言する。